

鹿高文連放第 32 号
令和 5 年 9 月 1 日

各高等学校長
関係特別支援学校長 殿

県高等学校文化連盟放送専門部
会 長 亀 田 誠

第34回鹿児島県高等学校総合文化祭放送コンテスト及び
第 7 回全九州高等学校総合文化祭大分大会放送部門
(第45回九州高校放送コンテスト) 鹿児島県予選大会の開催について (依頼)

初秋の候、貴職におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、表記の大会を別紙のとおり開催いたします。

つきましては、貴校の関係職員及び生徒の参加について、御配慮くださいますよう、お願い申し上げます。

第34回鹿児島県高等学校総合文化祭放送コンテスト及び
第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会放送部門
(第45回九州高校放送コンテスト) 鹿児島県予選大会実施要項

1 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、あわせて、九州地区における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進を図る。

2 ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にする心情を育て、あわせて、話す力、表現する力を高める。
- (2) 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- (3) 学校生活の中にうるおいをもたらし、心のふれあいの場をつくる。
- (4) 現代社会における人としての在り方、生き方を学ぶとともに、放送の果たす役割を考える。
- (5) 九州地区における校内放送活動の向上を図る場をつくる。

3 主催 鹿児島県高等学校文化連盟放送専門部会

共催 NHK鹿児島放送局

後援 鹿児島県教育委員会 (予定)

4 日時

番組部門審査 (非公開) 令和5年11月6日 (月)

アナウンス・朗読部門 令和5年11月8日 (水) 9:00から中ホール前にて受付

5 会場

番組部門審査会場 (非公開): NHK鹿児島放送局

(鹿児島市本港新町4-6 TEL 099-805-7000)

大会及びアナウンス・朗読部門審査会場: かがしま県民交流センター

(鹿児島市山下町14-50 TEL 099-211-6600)

※受付は2階中ホール前で、開・閉会式も中ホールで行います。

6 大会運営委員会事務局

鹿児島県立武岡台高等学校 放送部 内谷 八千代

〒890-0022 鹿児島市小野町3175

(TEL 099-281-5233 FAX 099-281-5244)

※大会会場には直接問合せをしないようにしてください。

7 大会日程 (予定)

【令和5年11月8日 (水)】

時 間	内 容 ・ 場 所
9:00～	[1] 受付・大会要項配布 2階中ホール前
9:10～ 9:50	[2] 放送専門部顧問会・役員打合せ会 4階中研修室3
9:10～ 9:40	[3] 発声練習 2階中ホール, リハーサル室3
10:00～10:20	[4] 開会式 ①開会の挨拶 ②審査員・役員紹介 ③諸注意・諸連絡 2階中ホール
10:20～10:30	[5] 移 動
10:30～14:30	[6] コンテスト アナウンス部門 … 2階中ホール 朗読部門 … 4階大研修室4 番組部門作品紹介… 3階大研修室2 アナウンス部門終了後, 2階中ホールで残りを上映
15:00～16:00	[7] 閉会式 2階中ホール ①講評 アナウンス部門 朗読部門 番組部門 ②成績発表 ③表彰 ④模擬演技 アナウンス部門 (最優秀賞受賞者) 朗読部門 (最優秀賞受賞者) ⑤閉会の挨拶 ⑥諸連絡
16:00～16:50	[8] 入賞者打合せ (九州大会参加校打合せ) 4階大研修室4 九州大会出場権がある生徒と, その学校の顧問は必ずこの会に参加してください。 打合せと並行して後片付けをします。全員で後片付けに御協力ください。

※本部は4階小研修室3となります。

8 コンテスト参加部門と参加人数制限・時間制限

- | | |
|-----------------------|------------------|
| (1) アナウンス部門 (各校3名以内) | (1分10秒以上1分30秒以内) |
| (2) 朗読部門 (各校3名以内) | (1分30秒以上2分00秒以内) |
| (3) ラジオ番組部門 (各校2作品以内) | (6分30秒以上7分00秒以内) |
| (4) テレビ番組部門 (各校2作品以内) | (7分30秒以上8分00秒以内) |

※最終学年の生徒は参加できません。

※アナウンス・朗読部門への参加は1名1部門とする。

※全九州高等学校総合文化祭に参加できる番組作品は, 1学校につき, 1部門1作品までとする。

9 各部門の課題・参加資格（九州大会の参加資格に準ずる）

参加資格は開催年の12月現在、鹿児島県高等学校文化連盟加に在学する生徒（ただし、高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く）。また、以上の生徒が制作した作品に限る。
他のコンテストに出品した作品は、本大会に出品できない。また、本大会に出品した作品を、他のコンテスト等に出品することは認めない。

（1）～（6）については、第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会（第45回九州高校放送コンテスト）に準ずるので、要項を熟読し規定違反の無いようにする。

（1）アナウンス部門

① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。

② エントリー番号、氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。

※ 学校名は読まず、エントリー番号に続けて、発表者の氏名を読む。

③ 審査基準

（A）校内放送に使用できる内容であること

（B）審査の視点

◆内容

（ア）素材の選び方は適当であるか。

（イ）文章表現は適当であるか。

◆アナウンスの技術

（ア）自然な発声で、ニュースが聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

・歌い上げ・作り声など、不自然なアナウンスは高く評価しない。

（イ）正しく意味を伝える抑揚表現ができていないか。

・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション

（ウ）間（ポーズ）は適切か。

・テンポ ・ポーズ

（C）100点法で総合的に採点する。

（2）朗読部門

① 次の指定課題4作品から1作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	ミゲル・ストリート	廉太郎ノオト	ナミヤ雑貨店の奇蹟	野良猫を尊敬した日
著者名 (訳者名)	V.S. ナイポール (小沢自然・小野正嗣)	谷津矢車	東野圭吾	穂村 弘
出版社	岩波文庫	中央公論新社	角川文庫	講談社文庫

② エントリー番号・氏名・作者名・作品名を含め、1分30秒以上、2分00秒以内で朗読する。

※ 学校名は読まず、エントリー番号に続けて発表者の氏名、作者名、作品名を読む。

※ 作品番号1の作者名は「ナイポール」と読むこと。

※ 作品番号4の作品名は、「短編名」ではなく、「書名」を読むこと。

※ 抽出は文頭から開始し、文末で終了すること。一文途中の開始や終了は「変更したもの」とみなす。本文中の（ ）内は省略してはいけない。

③審査基準

(A) 審査の視点

◆内容

- (ア) 作品の選定は適当であるか。
- (イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

◆朗読の技術

- (ア) 自然は発声で、場面や心情が聞き手に伝わるように朗読しているか。
 - ・発声 ・発音 ・マイクの使い方
 - ・演劇調など、過度に演出されているものは高く評価しない。
- (イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができているか。
 - ・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション
- (ウ) 間（ポーズ）は適切か
 - ・テンポ ・ポーズ

(B) 100点法で総合的に採点する。

(3) アナウンス・朗読に共通する事項

- ① 原稿3部を10月31日(火)までに提出する。規定用紙(第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会ホームページからダウンロードしコピーしたもの)を使用し、袋とじ(右側2カ所をホチキスで留め、仕上がりA5判)とする。第1頁を表紙とし、本文は、第2頁以降に記入する。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶすこと。アナウンスは「青」、朗読は「赤」とする。
- ② 原稿の差し替え(朗読部門の作品の変更は不可。)については、大会当日の9:00までに、4階中研修室3顧問会会場)で顧問が行うこと。
- ③ 提出された原稿は返却しない。

(4) ラジオ番組部門

- ① 作品は、6分30秒以上、7分00秒以内とする。
- ② 番組の最後には「制作は〇〇高等学校放送部(委員会)でした。」というクレジットコールを入れる。
- ③ クレジットコールには、BGM・SEなどの他の音声がかぶってはならない。
- ④ 計時は、最初の音からクレジットコールの終わりまでとする。
- ⑤ 作品は、指定された様式(PowerPoint)に「学校名」「作品名」を入れた静止画を貼り付けた動画mp4形式(拡張子はmp4)とする。
※ファイル名は「学校番号+部門+番号+タイトル」(例)005_am_1_タイトル.mp4・・・別添参照
- ⑥ 番組進行表の表紙上部の○枠は「赤」で塗りつぶす。
- ⑦ 作品データはUSBメモリやディスクなどの外部記憶媒体に保存・コピーして提出する。
- ⑧ 作品データ・番組進行表は返却しない。(USBメモリは除く。)

(5) テレビ番組部門

- ① 作品は、7分30秒以上、8分00秒以内とする。
- ② アスペクト比は、16:9(ワイド)とする。
- ③ テレビ局等の第三者が撮影した素材を主とする作品は、失格とする。
- ④ 作品の前後5秒間に、規定のテストパターン(様式2)を入れる。テストパターンは第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会ホームページからダウンロードして使用する。
- ⑤ 計時は、テストパターン(カラーバー)を除いた本編部分について行う。
- ⑥ 作品はMPEG-4/H.264 AVCのデータ形式とする。(拡張子はmp4) なお、解像度は1080Pまでとし、作品データの容量は1GB以内とする。

※ファイル名は「学校番号+部門+番号+タイトル」(例)005_vm_1_タイトル.mp4・・・別添参照

⑦ 番組進行表の表紙上部の○枠は「青」で塗りつぶす。

⑧ 作品データはUSBメモリやディスクなどの外部記憶媒体に保存・コピーして提出する。

⑨ 作品データ・番組進行表は返却しない。(USBメモリは除く。)

(6) ラジオ番組・テレビ番組に共通する事項

① 全九州高等学校総合文化祭に参加できる作品は、1学校につき、1部門1作品までとする。

② 高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。

ドラマ調の場合には、出演者は自校生徒、かつ「**参加資格**」の条件を全て満たす者に限る。

③ 審査基準

(A) 校内放送に使用できる内容であること。

(B) 審査の視点

◆テーマ(伝えたい内容)

高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

◆制作技術

(ア) メディアの選択 (イ) 制作方法 (ウ) 取材の方法や努力 (エ) 企画・構成

(オ) 演出・編集 (カ) 音声や効果音の使い方 (キ) 内容伝達力 (ク) 番組進行表の作成

(C) 100点法で総合的に採点する。

④ 作品のタイトルは、副題も含めて15文字以内を厳守する。

※作品名が英数字のみの場合は、半角文字で最大30文字(スペース含む)までとする。

⑤ 番組進行表は、後述の「12 様式規定」で作成し、**2部**・作品共に提出する。各種様式は、第45回九州高校放送コンテスト公式ホームページからダウンロードすること。

(大分事務局が開設予定)

1頁(様式3-1) 学校名・作品名・時間・制作意図(200字程度)・スタッフ/キャスト(学年)

2頁(様式3-2) 必要枚数を綴じ合わせたCUEシート

3頁(様式3-3) 使用著作物一覧

※規定3は全てA4サイズ。左上1カ所をホチキスで閉じる。両面印刷不可。

※必要に応じ、音源使用許諾(様式3-4)・取材許諾・著作物提供許諾(様式3-5)を添付する。

※必要に応じ、著作権処理確認資料(右上に著作物番号を朱書きする)を添付する。

⑥ 作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、著作権、著作権隣接権の処理を本大会開始までに確実に済ませておく。特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を用いるのが望ましい。著作権を伴う著作物については、一覧を番組進行表末尾に添付する。

⑦ いわゆる著作権フリーの音源素材であっても、インターネット上のものを利用することは厳禁とする。なお、著作権フリー素材とインターネット上の素材の使用については、NHK杯番組部門制作関連資料で定めたものと同じとする。

⑧ JASRACへの手続きと支払いは出場校が行い、関係書類のコピーを番組進行表の末尾に添付する。

⑨ 参加作品の著作権は、制作者(応募した学校)に帰属する。

⑩ 著作物使用等の許諾に関する詳細については、NHK杯要項のp17とNHK杯番組部門制作関連資料の注意事項に準じる。

⑪ 様式等については、本大会規定のものを使用する。

⑫ 発表に際しては作品再生前に代表生徒が登壇し、学校名と作品名を紹介する。

⑬ 番組進行表・作品共に 10月31日(火)までに提出すること。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶすこと。ラジオは「赤」、テレビは「青」とする。

データの保存名については添付のExcelファイルを参照とする。

10 参加申込

(1) 申込について

「参加申込書」は、**鹿児島県高文連放送専門部事務局HPからダウンロード**し入手してください。

※必要事項を入力後、メールにて事務局（アドレス：kago.housou.712@gmail.com）に提出してください。また**プリントアウトした参加申込書に公印を押印後、申込用紙は別の小封筒に入れ、原稿、作品、番組進行表等と共に郵送してください。**（別封筒に分けるのは事故防止のためです。）

※アナウンス原稿（各人3部）、朗読原稿（各人3部）、番組進行表（1作品につき2部）・番組作品を規定にしたがって提出する。

(2) 申込期限 **10月31日（火）午後4時30分までに必着**

※ 午後4時40分からエントリー作業の準備に入ります。

期限・締切時間を過ぎた場合は受け付けられない場合があります。期限厳守をお願いいたします。

※ 申込用紙・アナウンス・朗読部門の原稿・番組部門の作品と番組進行表ともすべて、**期限に確実に間に合うような方法**を使用してください。

(3) 申込先

〒890-0022

鹿児島市小野町3175 鹿児島県立武岡台高等学校内

鹿児島県高等学校文化連盟放送専門部事務局 内谷 八千代

(TEL 099-281-5233 FAX099-281-5244)

(4) 参加登録料

ア. アナウンス・朗読部門 参加生徒1名につき **1,000円**

イ. 番組部門 参加作品1点につき **1,000円**

☆参加登録料は、**10月30日（月）まで**に下記口座に振込んでください。

申し込み後に参加数の変更が生じても払い戻しは致しません。

【鹿児島銀行】

鹿児島銀行中央支店 普通口座3009119

鹿児島県高文連放送専門部 会計 安田 覚（ヤスダ サトル）

※ 振込者名については、通帳で確認しやすいように、下記の例のようにお願いします。

（例）タケオカダイ ウチタニ（カゴシマケリツ、コウコウ などは、**省く**）

11 諸注意

(1) かがしま県民交流センターの地下駐車場は2時間無料ですが、その後は有料です。

(2) 大会当日の昼食は、各自用意してください。

(3) 顧問会議を9:10～9:50まで、4階中研修室3にて行います。

(4) 館内の一般利用者に迷惑をかけないように指定（場所・時間）以外での発声練習は禁止します。練習場所は2階中ホール（発声練習 9:10～9:40）及びリハーサル室3です。

(5) 閉会式終了後、第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会放送部門への出場が決まった生徒（番組部門においては学校の代表）及び顧問の打ち合わせ会を開きます。九州高校放送コンテストへのエントリー数は、アナウンス・朗読部門各8名以内。ラジオ・テレビ番組部門は各5作品以内。（エントリーは両部門とも1校につき1作品のみ）

1 2 様式規定 エントリー番号は記入しない

様式規定 1 (アナウンス・朗読 原稿規定)

- 1-1 表紙 (右頁)・原稿用紙 (左頁)
- 1-2 アナウンス・朗読部門 原稿用紙

様式規定 2 (テレビのみ) テストパターン/カラーバー

様式規定 3 (ラジオ・テレビ 番組進行表)

- 3-1 表紙 (制作意図, スタッフ・キャスト・確認欄)
- 3-2 (CUE シート)
- 3-3 (使用著作物一覧)
- 3-4 (音源使用許諾申請書 (参考様式))
- 3-5 (取材許諾・著作物提供許諾申請書 (参考様式))

様式規定 4 (ラジオのみ)

- 4 (ラジオ音声を動画化するための「学校名」「作品名」を入れた静止画様式)

※規定 3 は全て A 4 サイズ。左上 1 カ所をホチキスで閉じる。両面印刷不可。

※著作権処理確認資料は右上に著作物番号を朱書きする。

<各様式について>

上記の規定様式は、第 45 回九州高校放送コンテスト公式ホームページ (開設予定) からダウンロードして利用してください。

(参考)

第 34 回鹿児島県高等学校総合文化祭放送コンテスト及び第 7 回全九州高等学校総合文化祭大分大会放送部門 (第 45 回九州高校放送コンテスト) 関係日程 (予定)		
10月30日 (月)	大会参加登録費 入金締切	指定の口座まで
10月31日 (火)	作品等〆切 (16:30 必着)	武岡台高校
11月 1日 (水)	エントリー作業	武岡台高校
11月 2日 (木)	実行委員会	武岡台高校 大会要項検討
11月 6日 (月)	番組部門審査 (非公開)	NHK鹿児島放送局
11月 8日 (水)	県予選大会	かごしま県民交流センター
11月11日 (土)	番組批評会	ZOOMで開催予定
11月12日 (日)	アナウンス・朗読強化練習会	NHK鹿児島放送局予定